

平成 22 年度 学 力 検 査

C 社 会 (11 時 30 分～12 時 15 分, 45 分間)

問 題 用 紙

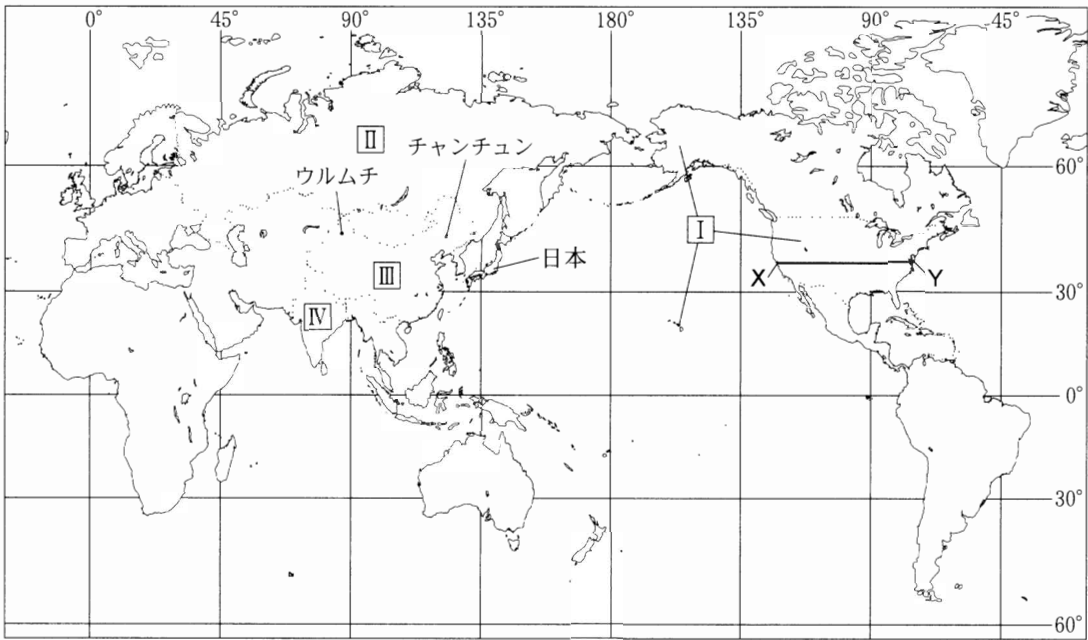
注 意

1. 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
3. 問題は、**1** から **5** までで、10 ページにわたって印刷してあります。
4. 「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
5. 問題を読むとき、声を出してはいけません。
6. 「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

緯線と経線が直角に交わった次の略地図を見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

〈略地図〉



〔国境は一部省略。国境については、確定していないところもある。〕(「2008/09 世界国勢図会」, ほかから作成)

(1) 上のような緯線と経線が直角に交わった略地図では、地球上の陸地や海洋の面積を正確に表すことができない。実際には、陸地と海洋の面積の割合はおよそどのくらいになるか、地球全体を10として、簡単な整数の比で書きなさい。

(2) 右の資料1は、略地図にⅠで示した国を、X—Yを結ぶ線で切った場合の断面図である。資料1に示したAとBにあてはまる山脈名の組み合わせとして最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〈資料1〉 Ⅰで示した国を、X—Yを結ぶ線で切った場合の断面図



- ア. A—ヒマラヤ B—アパラチア
- ウ. A—ヒマラヤ B—アルプス

- イ. A—ロッキー B—アルプス
- エ. A—ロッキー B—アパラチア

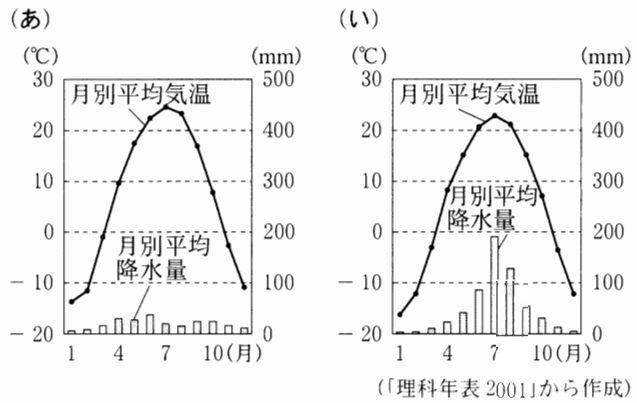
(3) 右の表は、略地図にⅠ～Ⅳで示した国と日本について、人口、人口密度および国民一人あたりの国内総生産を示したものである。この中でⅡで示した国にあてはまるものはどれか、最も適当なものを表のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

	人口 (千人)	人口密度 (人/km ²)	国民一人あたりの 国内総生産(ドル)
ア	299,398	31	43,968
イ	1,314,480	137	2,016
ウ	143,150	8	6,926
エ	1,117,734	340	822
日本	127,770	343	34,194

〔「2008/09 世界国勢図会」, ほかから作成〕

(4) 右の資料2は、略地図にⅢで示した国にあるウルムチとチャンチュンの月別平均気温と月別平均降水量を示したものである。チャンチュン周辺では畑作がさかんに行われているのに対し、ウルムチ周辺では遊牧(放牧)がさかんに行われている。ウルムチの月別平均気温と月別平均降水量を示しているのは、資料2の(あ)、(い)のうちどちらか、その記号を書きなさい。また、そのように判断した理由を、資料2から読み取り、書きなさい。

〈資料2〉 ウルムチとチャンチュンの月別平均気温と月別平均降水量



(5) 次の資料3は、略地図にⅣで示した国で第一次世界大戦後に指導者として活躍した人物の写真である。資料3に示した人物はだれか、書きなさい。また、資料3に示した人物について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 三民主義をかかげ近代的国家をつくる運動の中心となった。
- イ. 完全な自治を求め、非暴力・不服従の抵抗運動を起こした。
- ウ. 労働者・農民・兵士の代表会議(ソビエト)を指導した。
- エ. 大規模な公共事業などを行うニューディール政策をとった。

〈資料3〉



(6) 次の資料4は、化石燃料である石油、天然ガス、石炭の可採年数を、資料5は、日本の発電量1kWhあたりの発電方法別二酸化炭素排出量を、それぞれ示したものである。これまで化石燃料にたよってきた日本など世界のさまざまな国々で、太陽光や風力、地熱などの自然エネルギーの利用を増やすように努めているのはなぜか、その理由として考えられることを、資料4と資料5から読み取れることをもとに、書きなさい。

〈資料4〉 石油・天然ガス・石炭の可採年数

資源	石油	天然ガス	石炭
可採年数(年)	41.6	60.3	133

〔注：可採年数とは、ある資源について今後何年間、現在と同じ生産が可能であることを示すめやす。〕

(「2009 データブック オブ・ザ・ワールド」から作成)

〈資料5〉 日本の発電量1kWhあたりの発電方法別二酸化炭素排出量

発電方法	排出量(g)	発電方法	排出量(g)
石炭火力	975	太陽光	53
石油火力	742	風力	29
天然ガス火力	608	地熱	15

(「電力中央研究所報告書」から作成)

次のページへ→

2

右の略地図に ○ で示し

た県は、2006年10月1日からの1年間に人口が増加した、5つの県を取り上げたものである。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

〈略地図〉



(「データでみる県勢2009」, ほかから作成)

(1) 略地図にⅠで示した県にあてはまる県名はどれか、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア. 茨城県 イ. 埼玉県 ウ. 群馬県 エ. 栃木県〕

(2) 次の資料1は、略地図にⅡで示した県と全国の、2006年における業種別工業製品出荷額の割合を示したものである。Ⅱで示した県には京葉工業地域があるが、Ⅱで示した県の業種別工業製品出荷額の中で最も割合の多いAはどのような製品を製造する業種か、最も適当なものをあとのア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〈資料1〉 Ⅱで示した県と全国の業種別工業製品出荷額の割合(2006年)

Ⅱで示した県 13.0兆円	45.0%					19.7%	15.5%	8.6%	11.2%
	A					その他			
全国 316.9兆円	17.9%	13.4%	47.0%			7.2%	14.5%		

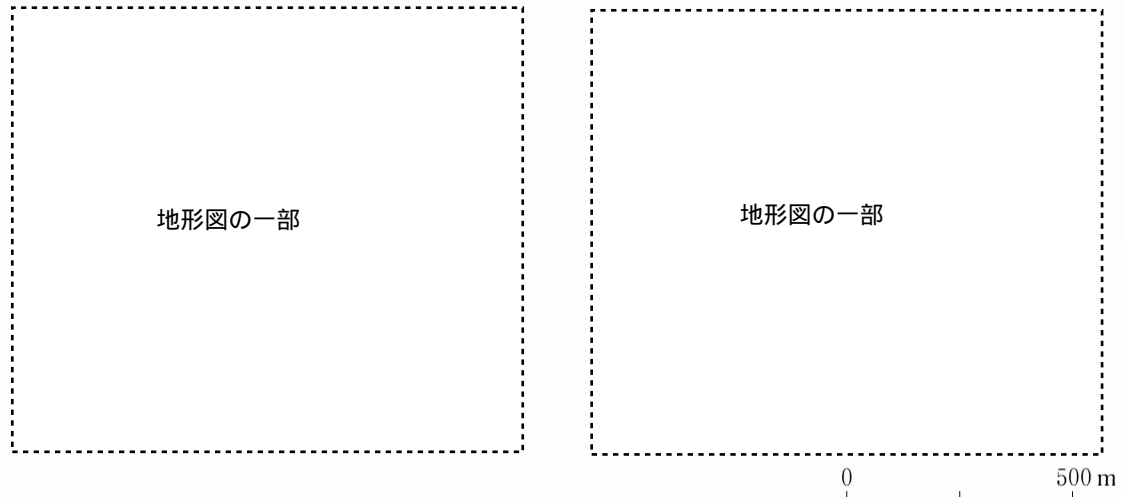
(「データでみる県勢2009」から作成)

〔ア. 化学製品 イ. 食料品 ウ. 機械製品 エ. 金属製品〕

(3) 略地図にⅡやⅢで示した県などにおいては、大都市の周辺で市場への近さを生かして、野菜などの農産物を新鮮なうちに出荷する農業がさかんである。このように、大都市の周辺で行われる農業を何というか、書きなさい。

- (4) 次の資料2は、略地図にⅣで示した県にある長浜市の同じ地域を示した、1972年と1990年に発行された地形図の一部である。資料2に示した地域において高速道路の長浜インターチェンジができ、周辺の道路整備も進んだことなどによって、土地の利用にはどのような変化が見られるか、資料2から読み取り、書きなさい。

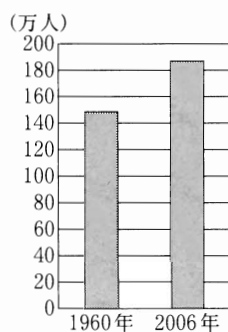
〈資料2〉 Ⅳで示した県にある長浜市の同じ地域を示した地形図の一部
(1972年) (1990年)



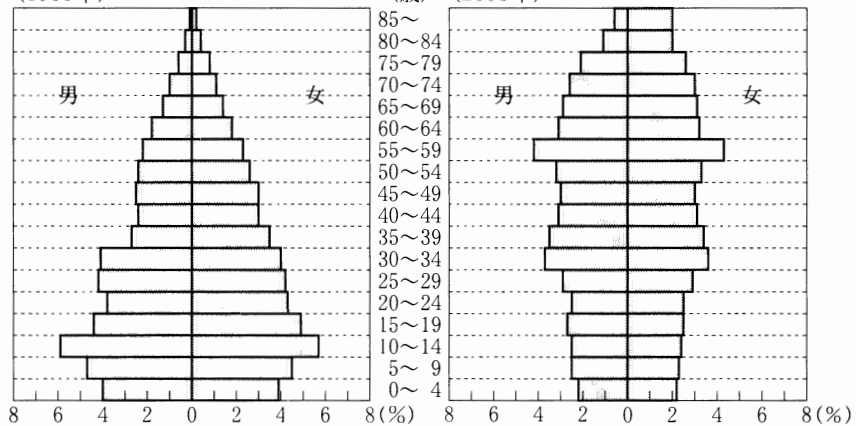
(国土地理院発行2万5千分の1の地形図1971年修正測量「長浜」、1988年修正測量「長浜」から作成)

- (5) 次の資料3は、三重県の1960年と2006年の総人口を、資料4は、三重県の1960年と2006年の人口ピラミッドを、それぞれ示したものである。これについて、あとの(a)、(b)の各問いに答えなさい。

〈資料3〉 三重県の
1960年と
2006年の
総人口



〈資料4〉 三重県の1960年と2006年の人口ピラミッド
(1960年) (2006年)



(資料3、資料4は、三重県ホームページ、ほかから作成)

- (a) 2006年における、三重県の0～14歳の子どもの人口として、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア. 約10万5千人 イ. 約26万5千人 ウ. 約46万5千人 エ. 約96万5千人〕

- (b) 三重県の年齢別の人口構成は、1960年と2006年を比べた場合、全体としてどのような変化が見られるか、資料4から読み取れることをもとに、書きなさい。

次のページへ→

3

たくやさんは、歴史的分野の授業で学習した各時代区分ごとのおもな法について整理するために、A～Dのカードを作成した。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

A 古代 701年に大宝律令たいほうりつりょうが定められた。律令のきまりにもとづいて政治を行う国家を律令国家という。

B 中世 執権しけん、北条泰時ほりしやうやすときは御成敗式目ごせいはいしきちくしやう(貞永式目)を定め、御家人ごけにんの権利・義務ごうむや裁判はんの基準などをまとめた。

C 近世 江戸幕府えとばくふは武家諸法度ぶけしよほつたを定め、築城けんじやう・結婚けっこんなどについて制約せいやくするなど大名の統制ちやうせいをきびしくした。

D 近代・現代 1889年に発布された大日本帝国憲法たいこくけんぽうは、第二次世界大戦後に改正され、日本国憲法として公布された。

(1) カードAについて、次の(a)、(b)の各問いに答えなさい。

(a) 右の資料1は、律令のきまりにもとづいて土地にかけられた税についてまとめたものである。資料1で示した負担ふたんは何か、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

(資料1)

戸籍こせきに登録され、口分田くぶんでんを割りあてられた6歳以上の人々は、口分田の面積に応じて稲を負担した。

[ア. 租そ イ. 庸よう ウ. 調ちやう エ. 雑徭ざうりやう]

(b) 右の資料2は、律令制において地方が乱れたようすについてまとめたものである。資料2の中の中央の貴族や寺社の私有地しやくしゆのことを何というか、書きなさい。

(資料2)

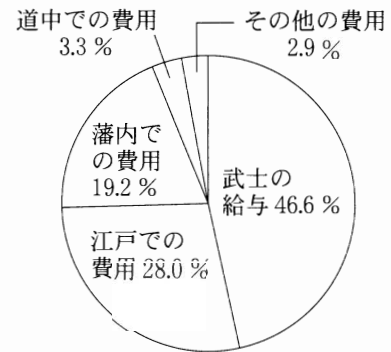
摂関政治せつかんせいじのころ、朝廷てうていは地方の政治をほとんど国司こくしに任せていた。また武士や農民のなかには、自ら開墾かいこんした土地(墾田こんでん)を中央の貴族や寺社の私有地として寄進きしんする者もあらわれた。

(2) カードBについて、御成敗式目(貞永式目)の条文の内容について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

ア. 和をもって貴しとし、さからう(争う)ことのないようにしなさい。
 イ. 朝は早く起きて草かを刈り、昼は田畑の耕作をし、晩は縄なわや俵たわらをつくりなさい。
 ウ. 武士が20年以上、実際にその土地を支配しているならば、その権利を認めます。
 エ. 所領しやうりやうの質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるので、今後は禁止します。

(3) カードCについて、右の資料3は、松江藩における支出の内訳を示したものである。資料3にあるように、江戸での費用が必要なのはなぜか、3代将軍徳川家光が武家諸法度で定めた制度にふれて、書きなさい。

〈資料3〉 松江藩における支出の内訳(1797年)



総支出額 14万 2,253両

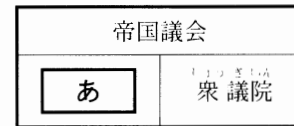
(「出入捷覧」, ほかから作成)

(4) カードDについて、次の(a), (b)の各問いに答えなさい。

(a) 右の資料4は、大日本帝国憲法における帝国議会の構成を示したものである。資料4の中の **あ** にあてはまるものは何か、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

[ア. 参議院 イ. 枢密院 ウ. 貴族院

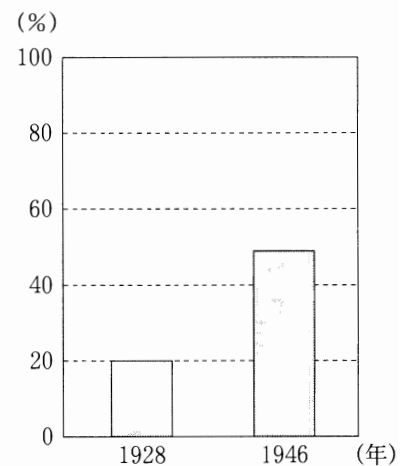
〈資料4〉



エ. 上院

(b) 右の資料5は、1928年と1946年に実施された衆議院議員選挙における全人口に占める有権者の割合を示したものである。資料5のように、全人口に占める有権者の割合が増加したのはなぜか、1928年と1946年に実施された、それぞれの衆議院議員選挙における有権者の資格にふれて、書きなさい。

〈資料5〉 衆議院議員選挙における全人口に占める有権者の割合



(「日本長期統計総覧」, ほかから作成)

次のページへ→

4 次の表は、あおいさんが歴史的分野の学習をふり返り、日本と外国との関係について、ノートにまとめたものの一節である。これを見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

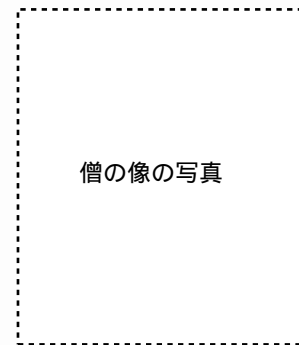
古墳時代に移り住んだ渡来人は、大陸の技術 ^① を日本に伝えた。
奈良時代には、仏教と大陸の影響を受けた天平文化 ^② が栄えた。
室町幕府は明と勘合貿易 ^③ を行い、貨幣が輸入されて使われた。
江戸幕府は、オランダ船や中国船との貿易を長崎の出島 ^④ に制限した。
明治以降、政府は諸外国と会議を開いたり条約 ^⑤ を結んだりした。
第二次世界大戦後の国際情勢 ^⑥ は、日本にも大きな影響をあたえた。

(1) 下線部①について、古墳時代に渡来人が日本に伝えた技術として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア. 高温で焼いた質のかたい土器(須恵器)や高級な絹織物をつくる技術。
- イ. ふすまや掛軸などに墨一色で自然をえがく水墨画の技術。
- ウ. キリスト教の布教に必要な書物の出版をするための活版印刷の技術。
- エ. 錦絵とよばれる多色刷りの美しい版画で風景画や美人画をつくる技術。

(2) 下線部②について、右の資料1は、奈良時代に来日した僧の像を示したものである。資料1に示した僧について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

(資料1)



- ア. 高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。
- イ. 東大寺を建て、仏教の力で国を守ろうとした。
- ウ. 唐招提寺を開き、寺院や僧の制度を整えた。
- エ. 奈良に法隆寺を建て、仏教を広めようとした。

(3) 下線部③について、正式な貿易船に、勘合という割札を持たせて明との貿易を始めた室町幕府の将軍はだれか、書きなさい。

(4) 下線部④について、次の(a)、(b)の各問いに答えなさい。

(a) 江戸幕府がオランダ船や中国船との貿易を長崎の出島に制限したころ、オランダ船や中国船が日本に多くもたらしたものは何か、最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- [ア. 木綿 イ. 毛織物 ウ. 麻 エ. 生糸]

(b) 右の資料2は、江戸時代に出島での貿易のほかに、
3つの藩が交流や交易を行っていた隣接地域を示した
ものである。交流や交易を行っていた藩と隣接地域の
組み合わせとして最も適当なものを次のア～エから1
つ選び、その記号を書きなさい。

〈資料2〉



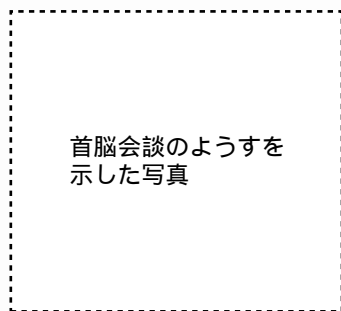
- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ア. 対馬藩—琉球 | 薩摩藩—蝦夷地 | 松前藩—朝鮮 |
| イ. 対馬藩—琉球 | 薩摩藩—朝鮮 | 松前藩—蝦夷地 |
| ウ. 対馬藩—朝鮮 | 薩摩藩—蝦夷地 | 松前藩—琉球 |
| エ. 対馬藩—朝鮮 | 薩摩藩—琉球 | 松前藩—蝦夷地 |

(5) 下線部⑤について、次のA～Dのカードは、明治時代から大正時代にかけて日本政府が、外国との戦争や事件の後に結んだ条約などについてまとめたものである。A～Dのカードを、書かれた内容の古いものから順に並べると、どのようになるか、その記号を書きなさい。

<p>A にちろ 日露戦争の講和会議 でポーツマス条約を 結ぶ。</p>	<p>B カンファド 江華島事件の講和会 議で日朝修好条規を 結ぶ。</p>	<p>C にっしん 日清戦争の講和会議 で下関条約を結ぶ。</p>	<p>D 第一次世界大戦の講 和会議でベルサイユ 条約を結ぶ。</p>
--	---	---	--

(6) 下線部⑥について、次の資料3は、1989年にマルタ島で開かれたアメリカとソ連との首脳会談の時のようすを示しており、資料4は、あおいさんが第二次世界大戦後のヨーロッパの情勢についてまとめた年表である。第二次世界大戦後つづいてきた国際情勢は1980年代以降どのように変化したか、資料3と資料4を参考に、アメリカとソ連との関係の変化にふれて、書きなさい。

〈資料3〉 1989年にマルタ島
で開かれたアメリカ
とソ連との首脳会談
の時のようす



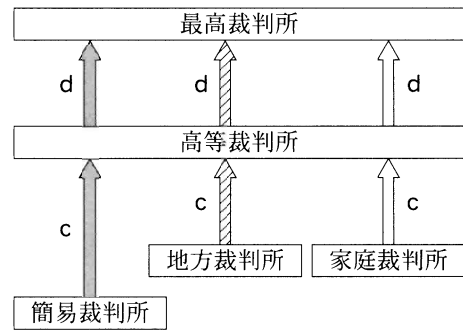
〈資料4〉第二次世界大戦後のヨーロッパの情勢についてまとめた年表

西暦年	一九四九	一九五五	一九六一	一九八九	一九九〇	一九九一
おもなできごと	・北大西洋条約機構が成立する	・ドイツが東西に分断される	・ワルシャワ条約機構が成立する	・ベルリンの壁ができる	・東欧の民主化が始まる	・ベルリンの壁が崩壊する
					・ドイツが統一される	・ソ連が解体する

次のページへ→

(4) D班のテーマについて、右の資料2は、
刑事裁判における三審制のしくみを示したものである。資料2に示したc、dにあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

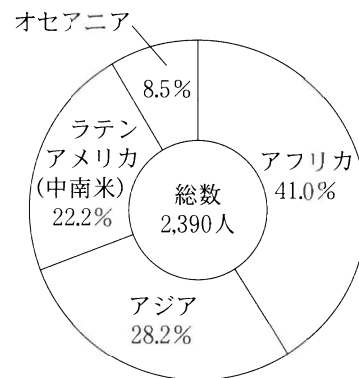
〈資料2〉 刑事裁判における三審制のしくみ



- 〔ア. c—控訴 d—上告 イ. c—起訴 d—上告〕
〔ウ. c—上告 d—控訴 エ. c—控訴 d—起訴〕

(5) E班のテーマについて、右の資料3は、青年海外協力隊の地域別派遣割合を示したものである。青年海外協力隊が派遣される目的は何か、資料3に示した青年海外協力隊の派遣される地域の状況にふれて、青年海外協力隊が派遣される目的を、「技術」という言葉を用いて、書きなさい。

〈資料3〉 青年海外協力隊の地域別派遣割合
(2009年9月30日現在)

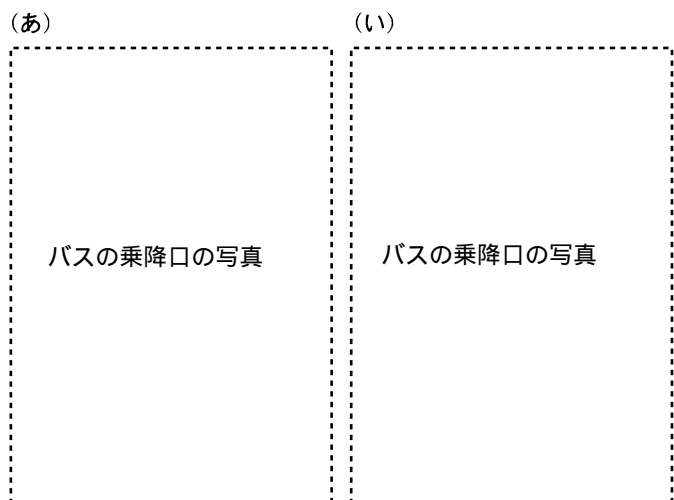


〔注：資料3に示した割合について、四捨五入の関係から必ずしも合計は100%にならない。〕
(国際協力機構ホームページから作成)

(6) F班のテーマについて、日本では釧路湿原や藤前干潟などが登録地となった、水鳥などが生息する国際的に重要な湿地などを保全するための国際条約を何というか、書きなさい。

(7) G班のテーマについて、右の資料4は、G班が撮った2種類のバスの乗降口の写真である。(あ)に示したバスの乗降口と比べて、(い)に示したバスの乗降口にはどのような工夫が見られるか、ユニバーサルデザインの考え方にふれて、書きなさい。

〈資料4〉 G班が撮った2種類のバスの乗降口



—おわり—